

第 14 回検討委員会のとりまとめ

1. 中島閘門上流部について

- ・上流部の覆砂工事を令和 3 年度までに終えたことから、これまで実施した対策について効果を確認して評価を行うこと。環境基準点(萩浦小橋)での水質ダイオキシン類濃度は平成 29 年度以降、環境基準値を下回っており、今後は、維持管理計画に基づいて水質のモニタリング調査等を行い、適切に維持管理すること。

2. 中島閘門下流部について

- ・工法選定にあたっては、能登半島地震に伴う津波による汚染状況の変動の有無を確認したうえで、専門部会の意見を聴きながら、引き続き検討していくものとする。

3. 新港東埋立地 C ポンドについて

- ・ C ポンド周辺のモニタリング調査の結果、環境基準値を超えるダイオキシン類は測定されていないことから、現在のところ封じ込め対策の効果が発揮されているものと考えられる。引き続き、モニタリングを継続しながら適切に管理されたい。